特247
809

0055163000

0055163-000

特２４７－８０９

慰問と宣撫

東亜児童愛護会

昭和１７

AJA

特247
809

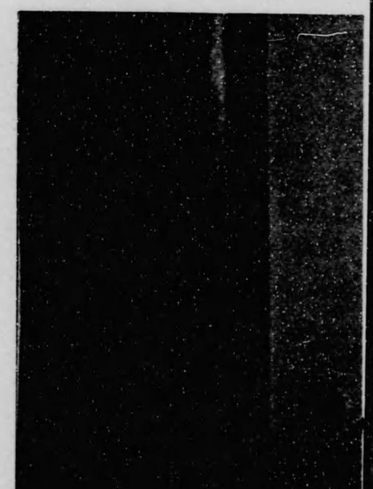
皇軍武運長久
祈願

新聞に、ニュース映画に、ラジオを聽いては、皇軍の赫々たる戰果にたゞ〳〵感激してゐます。

そしてその反面には、どんなに將士の各位が御苦勞なさつた事であらうと、思ひ起しては感謝の氣持で一パイです。

どうぞ今後共に、御健康でありますやう、御武運の長久と共に祈願いたします。

兵隊さん ありがたう



兵隊さん、有難うございます。

私達が子供達と共に普段と變りなく暮せますのも、ほんたうに、第一線で私達を護つて下さる兵隊さん方のおかげです。

大東亞の建設と云ふことが、お國の大事業であると言はれますとき、私達は十年、二十年將來に備へて、子供達を強く正しく訓育いたす、母としての心構へを持ちたうございます。私達の子供達が、やがては、今日皆樣でお築き下さつた偉大なお仕事を受けついで、立派にお國のお役に立つ日が見たうございます。

銃後慰問の圖畫は當年八才、國民學校に新入學の長女の描いたものでございます。戰陣のつれ〴〵に御笑覽下さいませ。

國債買つて
彈丸を！
これが前線へ、彈丸となつて届くのかと思えば……。

二陣は固い！

（上圖右）
女ながらも二陣を護る覺悟が出來てゐます。
空襲なんぞ恐るべきです。

×

これは或る日の訓練風景。第一群が梯子乘りの實演をしてゐます。誰れです。「大きなお尻りだ」といつたのは……。

（上圖左）
二陣に無駄があつてわ申譯ないと……。
毎月、八日の大詔奉戴日には廢品回收をしてこれを生かすやう、二陣の固さをこんなところにも示してゐます。

二陣の子供

銃後の子供達の元氣をごらん下さい

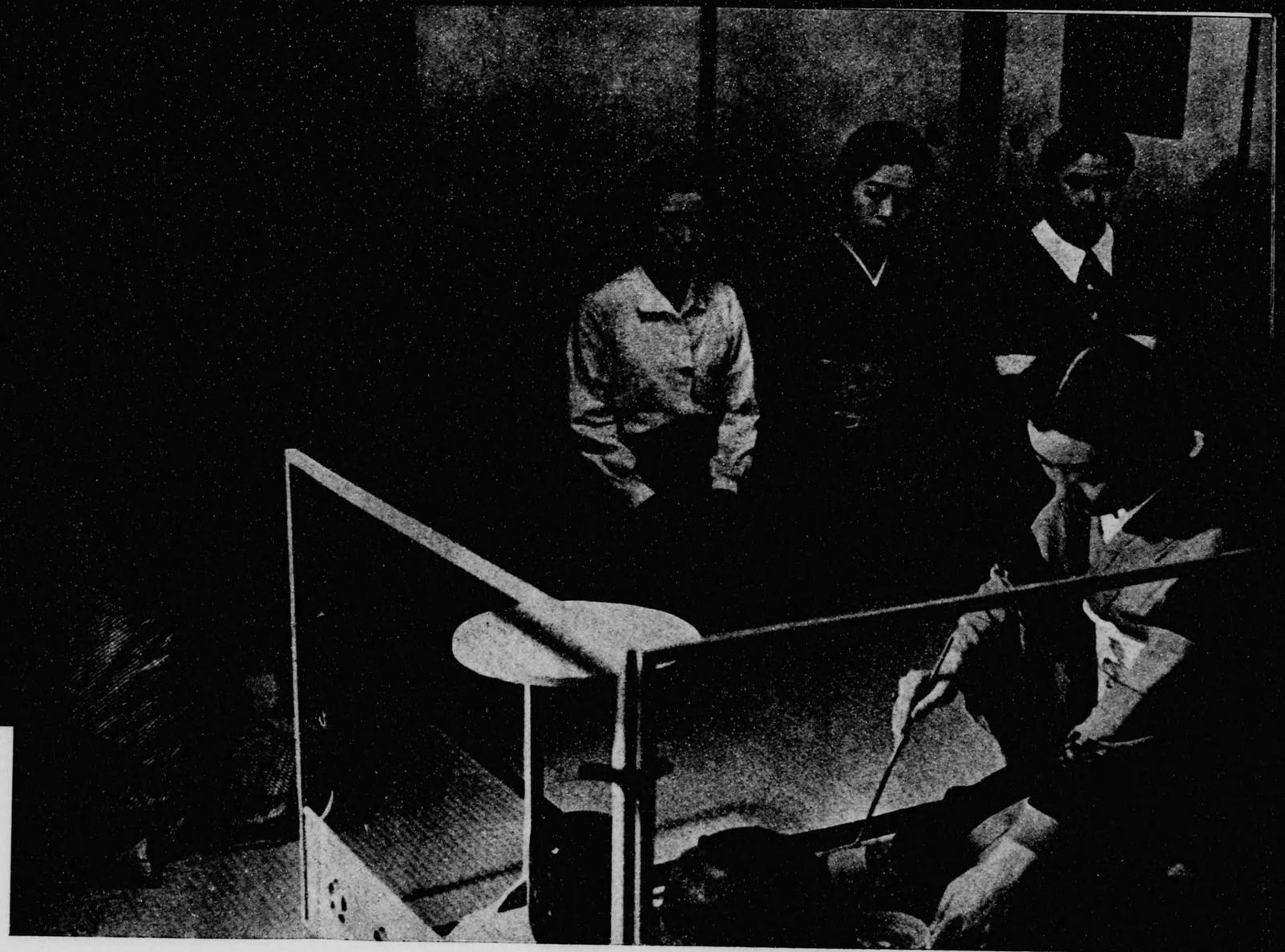
（下）
幼稚園の運動會！アッ、二番拔かれるぞ！

（右圖上）
國民學校では、女生徒ながらも科學する道を！

（右圖下）
オヤ〳〵赤ちやんの腕押し？ボクはお手々が、おいちい、おいちい。

×

こんな幼な子達までが、今日筆や言葉で現せない、偉大な訓育を魂に受けつゝ育つのですもの、大日本の十年、二十年將來は輝かしい。



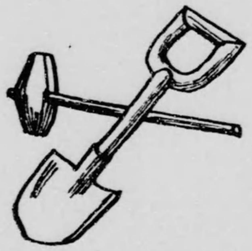
◇二陣の女性◇

（上）
職場で働いたあとの一ときを、茶の湯に心を修める都會の女性！

（左上）
豐かな國土に、惠まれた果物。日本に生を受けた喜びを胸に秘めて、默々增産する農村の女性！

（左下）
男手は不足してゐても、銃後の食糧に不足をさせてなるものかと、健康美を輝かす漁村の女性！

輝く日本

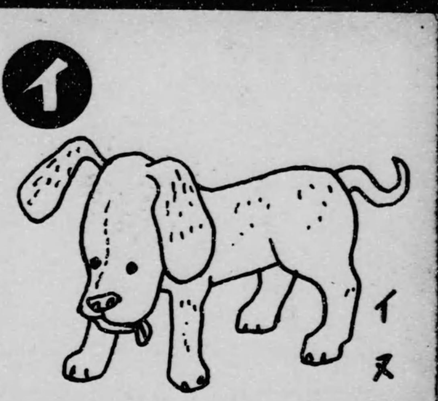


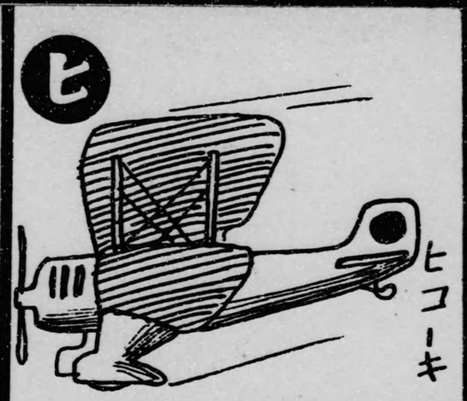
大東亞建設史

滿洲事變	昭和六年九月十八日勃發
上海事變	〃 七年一月二十八日突發
滿洲國政府	〃 七年三月一日成立
聯盟脫退	〃 八年三月二十七日 大詔渙發せらる
支那事變	〃 十二年七月七日勃發
防共協定	〃 十二年十一月六日 日獨伊三國正式調印
中華民國	〃 十五年三月三十日 新政府成立
東條內閣	〃 十六年十月十八日成立

宣戰布告	昭和十六年十二月八日 米英に對し宣戰布告の大詔渙發さる。在布哇米英大平洋基地總攻擊。在上海英艦擊沈。
マレー沖海戰	昭和十六年十二月十日 英東洋艦隊壞滅
香港島	〃 〃 十二月二十五日占領
ビルマ	〃 〃 〃 十二月十三日首都占領
フイリツピン	〃 十七年一月二日マニラ占領
昭南島	〃 〃 二月九日占領
印度	〃 〃 四月六日 コカナダ港爆撃
コレヒドール島	〃 〃 五月七日陷落 東亞侵略基地全く覆滅す。

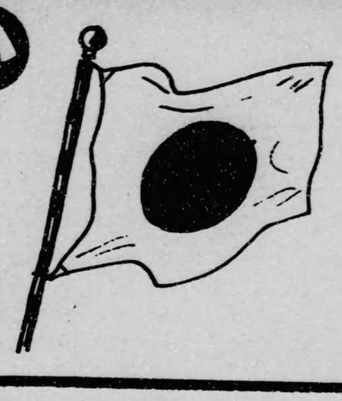
情報局選定 ニッポンゴ


イヌ


ヒコーキ

ウマ

コドモ


ハタ

【第一類・人】

サカナ　タマゴ　ヤサイ　クダモノ　ミズ
ニツポン　ニツポンジン　ニツポンゴ　ヒト　オトコ
オンナ　コドモ　オトーサン　オカーサン　キヨーダイ
シユジン　オクサン　トモダチ　オキヤクサン　アタマ
カオ　メ　ミミ　ハナ　クチ
テ　アシ　ワタシ　コレ　ソレ
ドレ　ナニ　ココ　ソコ　ドコ
ウエ　シタ　マエ　ウシロ　ミギ
ヒダリ　ナカ　ソト　ヒガシ　ニシ
ミナミ　キタ

【第二類・生活】

ウチ　ヘヤ　マド　トビラ　カギ
イス　ツクエ　ベンジヨ　ソージ　アケル
シメル　スワル　オキル　ネル　コメ
ゴハン　パン　ニク　サカナ　ヤサイ
クダモノ　ミズ　コーリ　ユ　オチヤ
シオ　サトー　カシ　サケ　タバコ
ヒ（火）　マツチ　セキタン　セキユ　ニル
ヤク　タベル　ノム　チヤワン　ハシ（箸）
サラ　ナイフ　ホーク　サジ　イレモノ
アラウ　キモノ　オビ　シヤツ　ボタン
ボーシ　クツ　クツシタ　キル　ハク
イト　ハサミ　テヌグイ　キル（切ル）　セツケン
キル（着ル）　ヌグ　ハタ　ホン　シンブン
カミ　エンピツ　ペン　インキ　エ
シヤシン　ジ　ヨム　カク　ミセ
オカネ　ウル　カウ　シゴト　アソブ
ビヨーキ　イシヤ　クスリ

【第三類・數】

イチ　ニ　サン　ヨン　ゴ
ロク　ナナ　ハチ　キユー　ジユー
ヒヤク　セン　ニン　ネン　ガツ
ニチ　ジ　フン　イクラ　ミンナ
タクサン　スコシ

【第四類・時】

キヨー　キノー　アス　アサ　ヒル
ヨル　イツ　マダ　アトデ　ツギ
トケイ

【第五類・場所方角】

コレ　ソレ　ドレ　ココ　ソコ
ドコ　ミセ　ウエ　シタ　マエ
ウシロ　ミギ　ヒダリ　ナカ　ソト
ヒガシ　ニシ　ミナミ　キタ

【第六類・自然】

イヌ　ネコ　ウマ　ウシ　ブタ
トリ　ハイ　カ　キ　クサ
ハナ　タケ　ヒ（陽）　ツキ　アメ
カゼ　ヤマ　ウミ　カワ　モリ

【第七類・交通】

ユービンキヨク　テガミ　キツテ　デンワ　デンボー
ラジオ　エキ　キシヤ　デンシヤ　ジドーシヤ
ジテンシヤ　フネ　キツプ　ノル　オリル
トマル　ニモツ　ミチ　ハシ（橋）

【第八類・社會】

マチ　ムラ　ヤクシヨ　ケーサツ　ギンコー
カイシヤ　コーバ　ガツコー　オテラ　キヨーカイ

【第九類・陸海軍】

リクグン　カイグン　グンシレーブ　タイチヨー　ショーコー
ヘータイ　ケンペイ　グンカン　ヒコーキ　センシヤ
ホー　ジユー　センソー　テキ　ミカタ
メーレー　カツ　タスケル

【第十類・形容語】

イー　ワルイ　オーキー　チーサイ　ナガイ
タカイ　アツイ　ハヤイ　ツヨイ　ヨワイ
オモイ　カタイ　トーイ　アタラシー　シロイ
クロイ　アオイ　アカイ　キーロイ　オナジ
ホントー　スキ　キライ　キレー　イタイ
アブナイ

【第十一類・動作語】

アル　ナイ　スル　イク　クル
アツマル　ハイル　ダス　モツテイク　ワカル
デキル　コシラエル　ナオス　ヤメル　シヌ
マツ　アゲル　トブ　ヨーイ　チユーイ

【第十二類・挨拶】

ハイ　イーエ　コンニチワ　オハヨー　サヨナラ
クダサイ　アリガトー　バンザイ

【第十三類・雜】

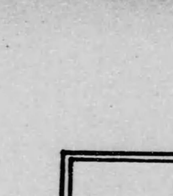
・・ト・・
・・ノ・・
・・・カ（疑問）
・・・ナ（禁止）
◇◇◇
◇◇◇

ア	カ	サ	タ	ナ	ハ
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ

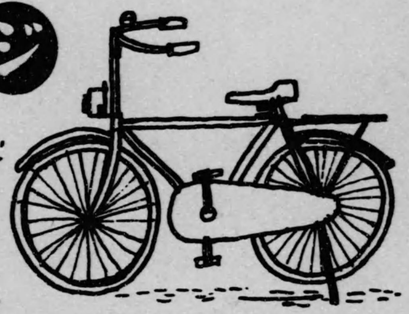
ガ	ザ	ダ
ギ	ジ	ヂ
グ	ズ	ヅ
ゲ	ゼ	デ
ゴ	ゾ	ド

マ	ヤ	ラ	ワ	ン
ミ	イ	リ	キ	
ム	ユ	ル	ウ	
メ	エ	レ	エ	
モ	ヨ	ロ	ヲ	

バ	パ
ビ	ピ
ブ	プ
ベ	ペ
ボ	ポ

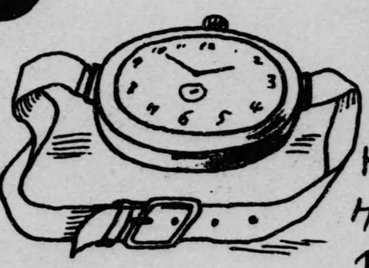


ジ



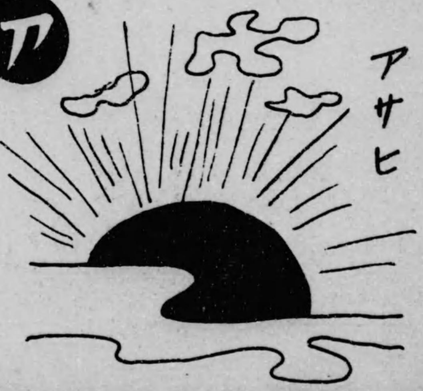
ジテンシヤ

ト



トケイ

ア

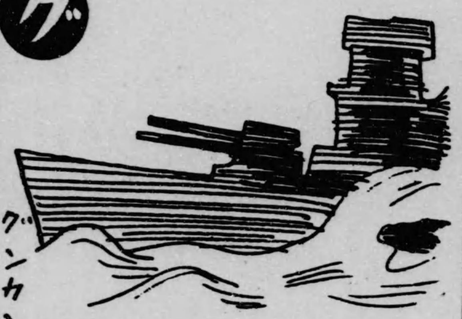


アサヒ

ヘ

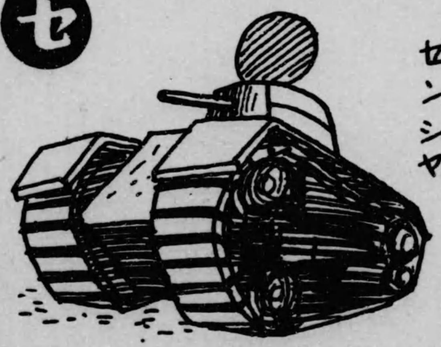
ヘータイ

グ



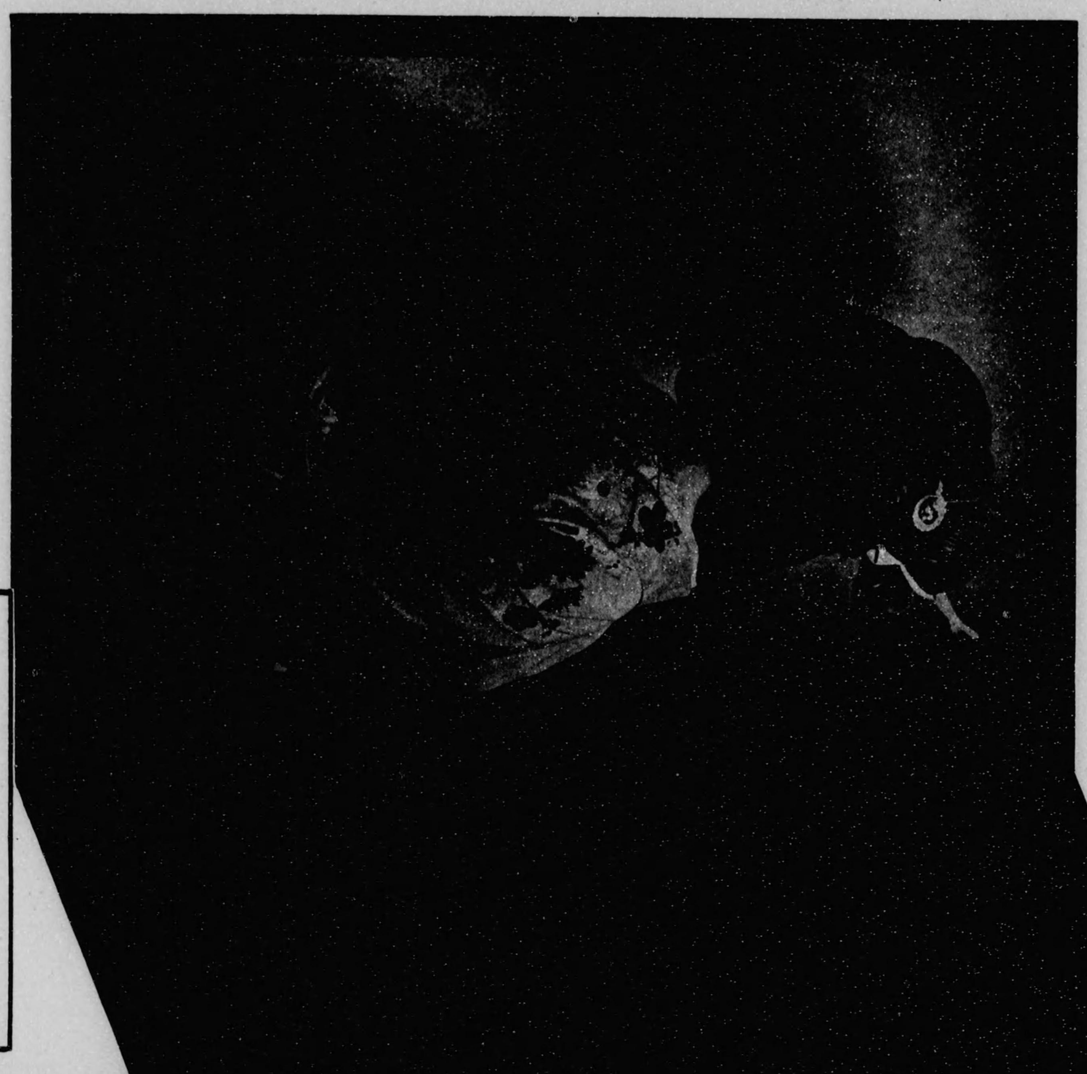
グンカン

セ



センシヤ

住民にまづ、アイウエオから教へませう。
そして次には、情報局撰定ニッポンゴを!!
×
それがすんだら、繪の文字を讀ませませう。



配給元　日本出版配給株式會社

發行所　東京兒童愛護會
東京市日本橋區亨埠町一丁目一四番地
電話亨埠町(86)一七一三番
振替東京六〇、九五三番
(會員番號一二〇、一八九號)

印刷所　信行社
東京市淺草區向柳原一丁目一番地

印刷者　河野伯一
東京市淺草區向柳原一丁目一番地

發行者　伊東勇
東京市日本橋區亨埠町一丁目一四番地

著者　伊東勇
東京市日本橋區亨埠町一丁目一四番地

慰問と宣撫

日本出版文化協會發行
承認番號（ア100162號）

昭和十七年七月十日初版印刷
昭和十七年七月十五日初版發行
（初版三萬部）
【定價 ㊕ 三十錢】

著者 [illegible]
發行者 [illegible]
印刷者 [illegible]
印刷所 [illegible]
發行所 東亞兒童愛護會
[illegible]
配給元 日本出版配給株式會社

停 定價 三十錢

送り主